

開講科目名	知能情報特論		
担当教員	大川 剛直	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと目標

情報の表現・獲得・処理のための方法論やアルゴリズム並びに、その応用に関する最新のトピックスをオムニバス形式で取り上げて講義することにより、高度な専門知識を幅広く習得させる。

授業の概要と計画

- つとしてあげられる。本講義では、音情報処理において使われる信号処理手法を中心に紹介する。(滝口哲也 / 2回)
2. 情報の抽出・処理
- ・ 知識抽出論：大規模かつ多様で動的な情報を適切に管理・分析し、有用な知識を抽出する技術として、特に統計学やグラフ理論を基礎とした情報検索、テキストマイニング及び複雑ネットワーク分析とそれらの応用について論じる。(江口浩二 / 2回)
 - ・ 情報処理論：バイオインフォマティクス分野におけるデータ处理的側面からの技術動向について、最新のトピックスを交えて講義する。(大川剛直 / 2回)
3. 情報の知能化
- ・ 創発計算論：情報の知能化システムの基礎的計算原理に位置付けられる創発的計算論に関して、学習と進化を範とした計算の枠組みを講述する。(玉置久 / 2回)
 - ・ 創発ネットワーク論：認識・抽出された情報を融合する情報ネットワークにおいて通信品質保証や信頼性保証機能を創発するネットワーク制御技術に関する最新のトピックを講述する。(太田能 / 2回)
4. 情報の処理基盤
- ・ 先端情報システム設計論：先進的な情報システムを具現化する技術基盤として、情報処理と無線通信を融合するユビキタスシステムのハードウェア・ソフトウェア構成技術、高い環境擾乱耐性を有する情報システムの設計技術、に関して最新のトピックを選んで講述する。(永田真 / 3回)

成績評価方法と基準

レポート及び講義内で実施する演習の結果を総合評価し、評価が60点以上のものを合格とする。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

テキスト

各教員の用意するスライドと教材による。

参考書・参考資料等